

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	硬膜外無痛分娩中の脊髄クモ膜下麻酔時における、髄液の診断法
研究責任者	聖隷浜松病院 麻酔科 池上 宏美
研究実施体制	研究責任施設 聖隷浜松病院 麻酔科
研究期間	2020年4月15日～2021年3月31日
対象者	2019.5-2020.9の間に硬膜外無痛分娩から緊急帝王切開になった症例 【選択基準】脊髄クモ膜下麻酔を行い、麻酔記録にpHテスト施行したことが記載されているもの 【除外基準】脊髄クモ膜下麻酔を施行したがpHテストを行っていないもの。脊髄クモ膜下麻酔以外の麻酔法を選択されたもの
研究の意義・目的	硬膜外無痛分娩中でも緊急帝王切開を受けることになった場合、脊髄クモ膜下麻酔は、麻酔効果発現の速さ・鎮痛の質・母体胎児の安全性から優れた麻酔方法である。しかし髄液の確認が必須であるが、針先からの流出液が、髄液か無痛分娩に使用した薬剤かを肉眼で判断することが難しい。 当院では硬膜外無痛分娩に用いる液体はロピバカインとフェンタニルであり、ともに酸性を示す。髄液は一般的に弱アルカリ性である。互いのpHの差を利用し、髄液を診断するpHテストが緊急帝王切開を受けた患者でも有効か検証する。
研究の方法	研究デザイン 後方視的観察研究 【方法】対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行う。 年齢、性別、既往症、妊娠週数、無痛分娩の適応、緊急帝王切開の適応、緊急帝王切開の麻酔法、脊髄クモ膜下麻酔を施行された場合にpHテストを用いたかどうか、無痛分娩及び帝王切開の麻酔記録。 【評価・解析方法】硬膜外無痛分娩中の緊急帝王切開に脊髄クモ膜下麻酔を施行した場合、髄液はpHテストで診断できたか。緊急帝王切開中の追加薬剤の状況から確認する。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 麻酔科 (氏名)池上 宏美

TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日